

議 事 録

		作成	馬淵さち子	承認	
会議名	一宮町の財政を学ぶ住民の会（仮称）第一回会合				
日 時	平成 19年 1月 17日（水） 13:30～17:00	場所	東福寺 集会場		
出席者	発表者：黒川明男氏・齋藤繁美氏 司会：馬淵昌也 参加者計：26名				
配布資料	黒川明男氏作成①「一宮町平成 16年度決算状況（決算カード）」 ②「決算カードの用語説明」 齋藤繁美氏作成③「財源構成（市町村普通会計）」 三谷 宏氏より④「（長生郡市）人口と面積」 馬淵昌也作成⑤「一宮町の財政を学ぶ住民の会（全くの仮称）第一回会合の議事次第（案）」 ⑥「一宮町の財政を学ぶ住民の会（全くの仮称）についての個人的覚書」 ⑦参加者へのアンケート（住所氏名・連絡先・興味の所在など）				
内 容				備 考	
<p>1. 馬淵昌也（世話人代表^(注1)）の挨拶</p> <p>（1）会を立ち上げるに至った経緯</p> <p>（2）会の目標・趣旨</p> <p>（3）会の基本的運営方針</p> <p>（注1）17日当日に会合参加者により世話人代表として承認を受けた。</p> <p>※資料⑥記載事項以外の内容、及び特記事項</p> <p>1）本会の名称などは、現時点ではあくまで仮称であり、今後世話人会^(注2)を通して検討し、全体の上承を得てから、正式な名称とする。</p> <p>（注2）17日当日に世話人会設立の上承を得た。</p> <p>2）本会としては、町当局と対立するという発想は一切ない。町当局とともに、よりよい街づくりを目指すことを目標とする。</p> <p>3）今後の合併問題に関して、合併或いは自立のどちらか一方を前提とすることはない。財政勉強の結果を町民の皆さんが合併の是非を判断する材料として提供することを旨とするのみである。</p> <p>4）将来的に町民全体に開かれたかたちになって以降、町の職員の方に話をしにおいていただくことも考慮する。</p> <p>5）全体会・世話人会の議事録は、常に誰でもが閲覧自由とすることで、会の透明性を確保する。</p> <p>6）財政関係の資料を入手した方は、コピー一部を馬淵昌也の手元に届けてもらいたい。この資料については、貸し出しの便宜を図ることとする。</p> <p>7）アンケートに得意分野を記載していただく理由は、今後街づくり構想に関して</p>				<p>・議事進行は、資料⑤に準拠</p> <p>・馬淵昌也の発言内容は、資料⑥の通り</p>	

分科会を作る際の参考資料とさせていただくためである。

- 8) 会場変更(当初、公民館にて開催予定)の経緯。公民館に申し込みしていたが、手違いにより、他の団体に貸し出されてしまった。東福寺のご住職のご好意によって、集会場をお貸しいただき、開催の運びとなった。

<質問・意見>

- ・今後の問題として、教育・福祉・医療が大きな課題になっていくことが考えられる。こうした問題も財政の問題と絡めて課題としていきたい。(齋藤満氏)
- ・世話人会には、監査役を置き指導を仰ぐべきである。(板倉正氏)
- ・会の運営資金調達のために、ガレージセールなどの催しを開き、会の存在を広めるとともに、運営資金とすることも一案ではないか。(齋藤孔久氏)

2. 参加者全員による自己紹介

3. 黒川明男氏による「決算状況(決算カード)」の見方・用語の解説

4. 齋藤繁美氏による地方自治体財政分析に関わる指標・指数についての解説

<報告についての意見・要望>

- ・保育所については、町立の保育所と私立の保育所で支出内容は違っている。(板倉正氏)
- ・一宮町広報などに、町の財政についての平易で現実に即した解説がある。こうしたものに基づいて発表を行ったらどうか?(齋藤満氏)

↓

市町村財政分析に関する文献では、みな「決算カード」をまず参照することとなっている。今回は、そこでこの「決算カード」を資料とした。次回は、より平易な説明を心掛けながら、報告を行っていく。(馬淵昌也)

- ・現在、有効利用できる土地が残されている。こうした土地を活用した際の税収の変化の状況などについても研究してほしい。一宮に人をよびこむ方策なども考えたい。

(三谷宏氏)

- ・用語が難しかったが、おおむねの内容は理解できたので、今後の勉強につなげていきたい。(金田昭氏)

5. 今後の会の運営について

(1) 世話人会設立と当面の世話人の選出

- ・全会の賛成により、世話人会設立が承認された。

- ・当面の世話人は下記の通り

馬淵昌也(世話人代表)

藤乗一由(世話人副代表)

板倉 正(監査役)

資料①・②参照
資料③参照

齋藤繁美

齋藤孔久

馬淵さち子（書記）

※会計は、このなかで決める。

※世話人は、次回以降も随時募っていくこととする。

（２）次回の会合について（決定事項）

日時：２月 25 日（日）

場所：一宮町公民館 生活研修室

テーマ：「一宮町財政の経年的変化の様相」（1982 年～2004 年の一宮町決算カード
をもとにして）

報告者：馬淵 さち子

対論者：藤乗 一由

※会合に参加できない方のために、会合の様子を録音し、貸し出しの便宜を図る。

※これから 2～3 回の会合に関しては、ポスター・ビラなどを作成して、多くの方に来ていただくというようなことはしない。あくまで、口コミによって参加者を募り、会としてのまとまりを確保して以降に、ビラなどを作成して多くの方を募る。将来的には、全町民に開かれた会とすることを目指す。

※今回の資料のコピーに関しては、NPO 法人「長生夷隅地域のくらしを支える会・中核地域生活支援センター長生ひなた」にご援助いただいた。

以上